

# ひまわり

③ 2022  
MAR



## もくじ

- 2 情勢 あたりまえにはたらき えらべる暮らしを
- 3 きょうされん第45次国会請願署名・募金運動にご協力をお願いします!!  
亀岡福祉会ビジョン2025今年度の進捗を報告します!
- 4 ○曾たまねぎが地域をつなぐ
- 5 ちょっと聞いてよ! 第37回  
新型コロナウイルス感染についてのお知らせ
- 6 私たちと一緒に働いてみませんか?・時・ご寄付

第二かめおか作業所仕事後の1枚「たくさんお仕事がんばりました!」

## 社会福祉法人 亀岡福祉会

○法人本部：〒621-0033 京都府亀岡市蕨田野町佐伯大門30-1

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

HP <http://www.kamecomyu.net/>



# あたりまえにはたらき えらべるくらしを

## 荒樋博利

HIROTOSHI ARAHI

 亀岡市相談支援センター  
お結びセンター長(一般相談)

毎年、多くの皆様にご協力いただいている国会請願署名・募金運動が、今年度も昨年12月からスタートしました。第45次となる国会請願署名・募金活動の請願項目は、「1. コロナ危機でも、障害のある人に安心したくらしを」「2. 障害者総合支援法を、障害のある人が安心して働き、くらせる制度に」「3. 福祉・介護現場等の深刻な人手不足を根本的に解消し、福祉に携わる人が働き続けられるように」「4. 優生保護法被害者の尊厳を回復する法律を」です。どの項目も障害のある人たちやそのご家族、私たち関係者にとって大切なことばかりです。

### 全国各地で起きていること

特にこの2年間の世界的な新型コロナウイルス蔓延は、日本でも第6波を迎えて全ての人々に大きな影響を与え、いっただれがどこで感染してもおかしくない状況になっています。国は今年1月9日から3県、1月21日から1都12県、1月27日から京都府を含む1道2府15県に「まん延防止等重点措置」を発出し、その後も和歌山県や高知県へ発出されたことから、まん延防止等重点措置は期間延長も含めて36都道府県に広がっています(2月14日現在)。

そうした状況の中、全国各地で起きていることは、医療機関の受け入れの逼迫や保健所の機能がマヒ状態になっていることです。感染を疑う状態になっ

ても検査が受けられない、感染しているかどうかもわからない、濃厚接触者の指定をしてもらえない、発熱外来で感染が判明しても保健所からの連絡がない、感染していても医療機関や療養施設に入れずに自宅療養を強いられる等々のことが起こっています。また「みなし陽性」という言葉も出始めて、感染等の判断は個々人の判断に委ねられるようになってきています。

### 当たり前前の暮らしが 当たり前前に実現できるように

そのような窮屈で先の見えない社会情勢ですが、障害のある方からも「作業所へ通いたいのに通えない」「もっと仕事をしたいのに仕事がない」「毎週出かけていた余暇の外出もできなくなった」等の声だけでなく、「買い物へ行った時に腕を組むなどのサポートをお願いしていたが、いまは頼みにくくなり、買い物へ行きづらくなった」、  
「レジに並ぶとき、床に立つ位置の印があるようだが分からないので、他の人との距離が近すぎたり、割り込みをしていないか不安になってしまふ」「釣銭のやり取りがトレーで行われるようになり、どこにあるか分からなく困った」(視覚障害)、「みんなマスクをつけているので口の動きが読み取れず、何を言っているのか分からない。情報が分からないので不安だ」(聴覚障害)、「コロナ感染が怖くて

外出を控えているが、こもりっぱなしになってしまった。イライラしたり、生活リズムが崩れたりした。食欲も落ちてしまった」(知的障害、精神障害)というような声も聞かれます。

また障害のある方を受け入れている作業所等の事業所は、ご家族の陽性、濃厚接触者の発生で利用されている方や職員に感染の疑いがある場合は、急きよ事業所を閉所して自宅待機(グループホーム待機)などをお願いし、その間に自前で購入・依頼した抗原検査やPCR検査を実施して感染の有無を確認するなどの対策を取っています。しかし、安全が確認され再開したとしても、また別ルートで疑いが発生するイタチごっこが続いていますし、受け入れる職員側も同様で、職員のご家族等の感染や感染の疑い、あるいは保育所の休園や学校の休校等々により出勤を控えざるを得ない状況が起きて、極めて厳しい事業所運営になっています。

これらのことは何も障害福祉分野だけのことではありません。高齢福祉の分野や医療分野でも起こっていることで、私たちの仕事は在宅ワークに置き換えられるものではありません。強い言葉で言えば、全ての人々が望むあたりまえの暮らしが当たり前前に実現できるように、この国会請願署名・募金活動を通してお伝えしていきたいと思えます。